

平成27年12月15日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

電気ストーブ（ハロゲンヒーター）、電気ストーブ（カーボンヒーター）、延長コードに関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照）

1. ガス機器・石油機器に関する事故 3件
（うちガス湯沸器（都市ガス用）1件、石油ストーブ（開放式）1件、開放式ガス温風暖房機（都市ガス用）1件）
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故 5件
（うちノートパソコン1件、電気ストーブ（ハロゲンヒーター）1件、IH調理器1件、電気ストーブ（カーボンヒーター）1件、延長コード1件）
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故 3件
（うち延長コード1件、発電機（携帯型）1件、ろうそく（芳香用）1件）
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社フジマックが輸入した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）について（管理番号A201500565）

① 事故事象について

株式会社フジマックが輸入した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、上部スイッチ部分より異常な発熱が発生し、出火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）3月16日、新聞社告を行うとともに、商社・問屋・販売店へのチラシの配布、ウェブサイトへの情報掲載を行い、対象製品について製品回収及び返金を実施しています。

③ 対象製品：製品名、機種・型式、輸入期間、対象台数

製品名	ハロゲンヒーター Home best
機種・型式	CHL-801
輸入期間	2002年11月～2003年2月
対象台数	9,396台

2007年（平成19年）3月16日からリコール（製品回収・返金）を実施
回収率 13.1%（2015年12月11日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

これまで同社が輸入した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）について、消費生活用製品安全法第35条第1項に基づき報告を受けた重大製品事故は、本件のみです。

<対象製品の外観及び確認方法>

前面(写真)



背面(写真)



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止し、下記問合せ先まで速やかに御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社フジマック

電話番号：0120-023395

受付時間：9時～17時半（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://img01.ecgo.jp/usr/fujimac/img/140610150205.pdf>

サンケン
 (2) 燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について
 （管理番号A201500569）

① 事故事象について

燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品の強弱スイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）8月7日、2008年（平成20年）4月21日及び2011年（平成23年）2月10日にウェブサイトへ情報掲載し、また、2011年（平成23年）2月、2012年（平成24年）2月及び2013年（平成25年）3月に新聞社告を掲載し、2014年（平成26年）1月にインターネット広告（yahoo バナー広告）を行い、さらに、販売店においてポスター掲示、ダイレクトメールの送付等を行い、対象製品について製品回収及び返金を実施しています。

また、2008年（平成20年）4月21日にリコールし、既に代替品として交換した「機種：UHC-3T」についても製品回収及び返金対応を実施しています。

③ 対象製品：製品名、機種・型式、表示製造年、対象台数

製品名	機種・型式	表示製造年	対象台数
電気ストーブ （カーボンヒーター）	UHC-3T （色：ベージュ） ブランド名：EUPA（ユーパ）	2009年製 2008年製	16,269
	UHC-9T （色：ブルー） ブランド名：EUPA（ユーパ）	2007年製	10,303
	TSK-5328CT ブランド名：EUPA（ユーパ）	2007年製 2006年製 2005年製	29,131
	TSK-5328CRI	2006年製 2005年製	882
	TSK-5328CRI (BW) ※販売元：(株)バルス	2005年製	486
電気ストーブ （ハロゲンヒーター）	FS-900T ※販売元：(株)フィフティ	2007年製 2006年製	15,593
合 計			72,664

2007年（平成19年）8月7日からリコール（製品回収・返金）を実施
 回収率 11.0%（2015年11月30日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201500569）発生以前の、同社の当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（調査中のものであってリコール対象の内容かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	3	火災	2012年度	2	火災
2014年度	1	火災	2011年度	3	火災
2013年度	2	火災	2010年度	6	火災

<対象製品の外観及び確認方法>

1) 対象製品の外観



(写真はUHC-3T)

2) 対象製品の確認方法：当該製品の裏面の型番を御確認ください。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収及び返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

燦坤日本電器株式会社

電気ストーブ・カーボンヒーター・ハロゲンヒーター回収ダイヤル

電話番号：0120-600-527

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.tsankuen.jp/kinkoku.html>

(3) 株式会社セリアが輸入した延長コードについて（管理番号A201500571）

① 事故事象について

株式会社セリアが輸入した延長コード及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負いました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（製品回収・返金）について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、製造上の不具合により、使用中に電源コードが破損し、短絡、出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2015年（平成27年）9月24日、ウェブサイトへの情報掲載を行うとともに、新聞社告、各店舗での店頭告知を行い、対象製品について製品回収及び返金を実施しています。

③ 対象製品：製品名、長さ・色、口数、販売期間、対象個数

製品名	長さ・色	口数	販売期間	対象個数
延長コード	1.5m・白	1口	2010年11月 ～ 2013年12月	2,439,695
	1.5m・黒			
	1m・白			
	20cm・白			
	1m・白	3口		

2015年（平成27年）9月24日からリコール（製品回収・返金）を実施
回収率 1.0%（2015年12月10日時点）

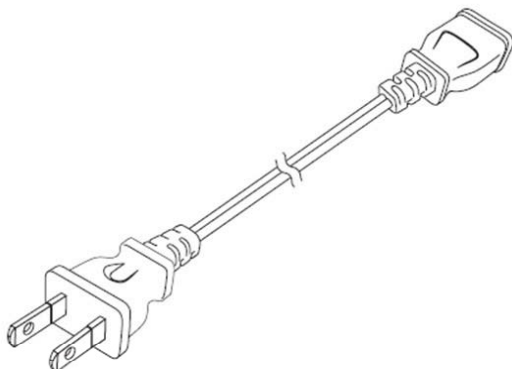
<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201500571）発生以前の、同社の当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（リコール開始の契機となった事故を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

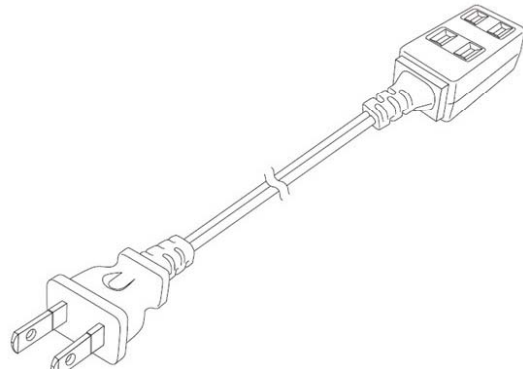
年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	1	火災・軽傷1名	2012年度	0	—
2014年度	0	—	2011年度	0	—
2013年度	0	—	2010年度	0	—

<対象製品の外観及び確認方法>

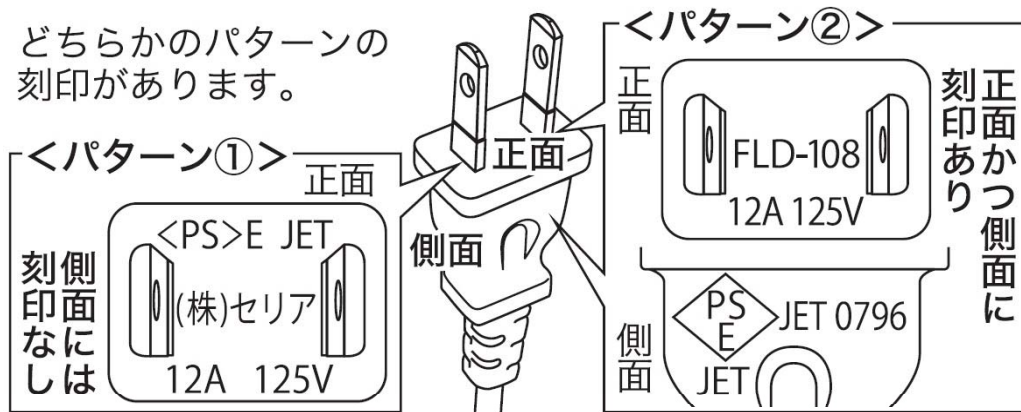
【1口タイプ】



【3口タイプ】



※裏面にもう1口差し込み口があります。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止し、最寄りのセリア各店舗にお持ちいただくか、下記問合せ先まで速やかに御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社セリア

電話番号：0120-284-321 ※専用フリーダイヤル（無料）
携帯電話・PHSからも利用
できます。

受付時間：9時～18時（日曜日・大型連休（年末年始・ゴールデン
ウィーク・お盆等）を除く。）

ウェブサイト：<http://www.seria-group.com/info/20150924.html>

（本発表資料の問合せ先） 消費者庁消費者安全課
（製品事故情報担当） 担当：木原、清重
電話：03-3507-9204（直通）
FAX：03-3507-9290

（株式会社フジマックが輸入した電気ストーブ（ハロゲンヒーター）
について、燦坤日本電器株式会社^{サンケン}が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について、株式会社セリアが輸入した延長コードについての発表資料に関する問合せ先）

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当：下出、大塚 電話：03-3501-1707（直通）
FAX：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201500562	平成27年12月1日	平成27年12月10日	ガス湯沸器(都市ガス用)	GC-160-E	株式会社サンキ工作所	火災	店舗で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	平成27年12月7日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済 平成27年12月10日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201500570	平成27年11月29日	平成27年12月11日	石油ストーブ(開放式)	R-20	株式会社トヨミ	火災	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛媛県	製造から25年以上経過した製品
A201500572	平成27年11月30日	平成27年12月11日	開放式ガス温風暖房機(都市ガス用)	GFH-2401S(東邦ガス株式会社ブランド:型式NC-24FSB)	株式会社ノーリツ(東邦ガス株式会社ブランド)	火災 重傷1名 軽傷1名	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生し、1名が重傷、1名が軽傷を負った。現在、原因を調査中。	愛知県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201500564	平成27年11月16日	平成27年12月10日	ノートパソコン	CF-J10FELDP	パナソニック株式会社	火災	大学で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	京都府	
A201500565	平成27年12月3日	平成27年12月11日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	CHL-801	株式会社フジマック(輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、上部スイッチ部分より異常な発熱が発生し、出火に至ったものと考えられる。	福井県	平成19年3月16日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:13.1%
A201500566	平成27年11月23日	平成27年12月11日	IH調理器	CS-G2202C	三菱電機ホーム機器株式会社	火災 軽傷1名	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。現在、原因を調査中。	沖縄県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500569	平成27年12月7日	平成27年12月11日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	UHC-3T	燦坤日本電器株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の強弱切替スイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。	東京都	平成19年8月7日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:11.0%
A201500571	平成27年12月1日	平成27年12月11日	延長コード	4947879369233	株式会社セリア (輸入事業者)	火災 軽傷1名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。現在、原因を調査中。	青森県	平成27年9月24日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:1.0%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500563	平成27年11月10日	平成27年12月10日	延長コード	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	岡山県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成27年12月1日
A201500567	平成27年11月27日	平成27年12月11日	発電機(携帯型)	CO中毒 軽症4名	工事現場で当該製品を使用中、一酸化炭素中毒で4名が軽症を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201500568	平成27年11月21日	平成27年12月11日	ろうそく(芳香用)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

ノートパソコン（管理番号：A201500564）



I H調理器（管理番号：A201500566）

